



西大  
皇  
911207  
E  
2-1



60205



913

秋の芳し心お淑才書之



市谷氏家藏

花つ采ふらひの春梅子露  
花よ美人お好の月夜は釣る電  
吹流くせむさうぬまのまはれを  
かた月月的に秋おきく長松  
子進るやまの聲ふれは去の風  
雪消くたろくはれお書法山  
梅りりわたるも昔は初梅  
雪は秋書葉は形うぬ松の風  
陰や梅を鳥うぬ清池水  
山や雪志るぬろく秋か

ねやまの夜も此守みら  
きのみまの田中、舞と紅葉を  
栞を、あどすうららのさか  
かひのさうのみら、れむせのふ  
秋、みら、こゝと、紅葉の、た、紅葉  
ま、る、な、り、本、の、さ、都、山、の、下、は、し  
花、と、つ、れ、ま、ま、つ、わ、た、し、と、ゆ、ま、し  
月、か、き、し、う、ら、や、ま、ら、う、か、す、夜  
卯、心、よ、た、た、ん、く、雷、線、を、ゆ、ん  
雨、々、し、な、ら、と、み、つ、り、月、夜、の、お  
あ、つ、こ、ま、れ、葉、く、く、れ、昔、月、の  
水、か、ら、り、山、ま、ん、を、な、ま、ひ、た

人、の、法、は、ま、い、ら、る、宿、の、梅  
岩、祇、あ、む、し、て、く、の、本、は、お、お  
お、れ、め、し、む、し、紅葉、も、な、の、を  
き、る、祇、の、う、山、吹、の、う、い、ね  
山、の、う、ま、ん、や、ま、な、れ、む、ゆ、り  
お、き、ゆ、ら、せ、ま、ま、る、れ、や、ま、津、を  
卯、初、の、月、は、春、の、う、新、し、う、な  
う、け、清、し、夏、の、な、と、う、り、月、は、お  
雨、の、あ、り、さ、月、は、電、の、ひ、り、か、を  
大、月、の、山、か、う、う、な、す、し  
お、は、ら、る、う、う、う、海、の、し、時、を  
さ、う、あ、り、う、り、也、ね、ら、る、あ、り、あ、り

秋のふたつは、あつはなうら、朝す  
く、あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら



あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら  
あつはなうら、あつはなうら、あつはなうら

朽木をうたがひきこり下葉  
郭ふかろふ月此の如く  
とく病をいとけ葉も也秋の蜂  
花ももよもくつる物つなま  
友心秋伊そく葉は守葉  
理りつる如く梅も江も有  
おまこよも教のむつとほ  
まこ見次はけ園有り秋雪  
之れおまこくつるなまも  
非と世の人はまよまの如  
山も雪もくつる江も水も  
葉もかほり秋も消ふと  
如く雪

竹の葉も見るまもや  
花も雪もあつて吹つて津風  
まよも風もつるまも  
東も北も梅も池もつる  
おまこつる代もあつて神の  
りも花もをこもれも  
神もつるまもあつて神の  
りも花もをこもれも  
まよも風もつるまも  
東も北も梅も池もつる  
おまこつる代もあつて神の  
りも花もをこもれも  
神もつるまもあつて神の  
りも花もをこもれも

てよとんちひるる文こそ介  
山や雪やと小えなまじり交  
交の野や涼くま病も神や  
本好くも風まじりも志つて  
秋のころ昔せしぬら月成り  
花もなをれりくしめしゆを  
おとねる人しりせしめり  
花は海を礼へんよれ神は  
昔にれむるやこの世といふ  
山里の人しりては神は死て  
有的たま月花めは死神は  
きのぬるる花しりては月

あつたのわらわはうたは  
昔はうたはうたはうたは  
風や花もさるる舟花は  
秋さびくぬり神はうたは  
常はあつたはうたはうたは  
はるの国しりてはうたは  
志打さるる神はうたは  
ぬらよきよき一はれはうたは  
かられり人しりてはうたは  
をんじり人しりてはうたは  
すさやうたはうたはうたは  
あつたは物しりてはうたは

壽

壽  
永  
志







